

# 清田 扶羽茄 さん

健康・スポーツ教育課程 スポーツ科学コース

大阪府（特支体育）内定

大阪府立泉鳥取高等学校出身



## ■ 学校種を目指したきっかけ

高校で進路について考えていた際、障がいのある友人と体育祭のときに自然に関わっていた私の姿をみていた先生が、支援学校の教員に向いているのではないかと勧めてくださいました。

大学入学後、子どもたちと関わる中で絶対に支援学校の先生になりたい！という思いがさらに強くなりました。

## ■ 大学での学び・教育実習での経験

たくさんの学びがありましたが、特に印象に残っているのは、子どもたちと丁寧に関わることの大切さです。子どもたち一人ひとりの言動には、それぞれ理由や背景があることを知り、そこに目を向けることで、どのような言葉をかけるべきか、あるいはあえてかけない方がよい場合もあるのだと考えられるようになりました。

その結果、支援の方法の幅が広がったと感じています。実際に子どもたちと関わる中で、実践的な学びを得ることができました。

## ■ 採用試験でのアピールポイント

面接を楽しみました！自分を落とすのはナンセンスだというマインドです！

必要以上に自分を低く評価するのではなく、自分の考えや経験を素直に伝えることを意識しました。

## ■ 教職センターでのサポート

1日に何時間も、何度も面接練習に付き合っていたり、実技指導をしていただいたりと、本当に手厚く支えていただきました。教員採用試験について些細なことまで相談でき、書類の分からない点も丁寧に分かりやすく説明してもらえたことが心強かったです。励ましの言葉に何度も背中を押され、仲間が努力する姿を間近で見ることができたのも大きな励みになりました。学びも支えもたくさん詰まった、私にとって欠かせない大切な場所です。

## ■ 目指す教員像

子どもの立場に立って考えられる教師を目指しています。子どもたち一人ひとりの言動には必ず理由があることを大切に受け止め、それぞれの教育的ニーズに応じた指導や支援を行うことで、子どもたちの可能性を引き出していきたいと考えています。そのために、常に子どもの視点に立って考える姿勢を忘れずに取り組んでいきます。

## ■ 後輩へのメッセージ

ぜひ、たくさん子どもたちと関わってほしいと思います。子どもたちと向き合う中で学ぶことは本当に多く、自分の未熟さを痛感して「もっと勉強しやな！」と前向きなモチベーションにもつながりました。実際に子どもたちや教育現場で活動することで、多くの刺激を受け、成長のきっかけになると思います。



同じ課程の仲間、ゼミの仲間、  
またこれから出会う新しい仲間。  
周りの仲間を大切にして、  
これからもがんばっていきます！

